

ひだかの魅力 再・発・見

今回の「ひだかの魅力再発見」は、第64次南極地域観測隊に参加する、熊倉聡泰さんをご紹介します。

第64次南極地域観測隊



熊倉 聡泰さん(高萩)

私は、設営系の越冬隊員として参加し、越冬隊唯一の建築・土木担当として建物の修繕・維持管理業務や研究施設の解体工

11月11日に、第64次南極地域観測隊が南極の昭和基地に向けて出発しました。南極地域観測は、国際協力のもと国が実施する事業の一つです。日本の活動拠点となる昭和基地では、超高層物理学、気象学、雪氷学、生物学、地学など幅広い分野で観測が続けられています。

過酷な環境下にある南極生活で観測の手助けとなるよう、基地の設備や生活の維持を担います



▲ 南極移動基地ユニット

事、隊員宿舍の基礎工事、南極移動基地ユニットにおける活動支援などを行う予定です。南極では、限られた人数で基地を運営するため、各分野の専門家であることが求められます。そのため、研修を受けたり資格を取得したりするなど出発に向けて準備しました。帰国は、令和6年春の予定です。地球温暖化が進む現代で、南極地域の観測から、どうしたら地球を守ることができるのか考えることができます。今回南極地域観測隊に参加し、観測をサポートして未来の地球を守っていくことは、私にとって大きな使命だと考えています。



佐藤杏史ちゃん(7か月)



遠藤明愛ちゃん(2歳7か月)
冬明ちゃん (10か月)



新井雄介ちゃん(3歳1か月)



編集室

〇年ぶりという言葉が飛び交う秋が過ぎ、あつという間に師走となりました。今年、巾着田曼珠沙華まつり、日高市民まつり等も開催することができ、久しぶりのまつりにわくわくしながら撮影にいきなりました。来る令和5年が、市民の皆さんにとって健康で過ごせますようお祈り申し上げます。(H)

サンタさんをお願い

子どもたちに聞きました！



西村幸樹さん(野々宮)



左：大隈都麦さん(野々宮)
中央：松本凜花さん(上鹿山)
右：慧吾さん